

# あいあいあい

I eye 愛

2025年  
4月号



菅野食品の村尾さん

3/12 組員交流会(太白地区)「こんな食べ方あったんだ！」マンネリ解消おとうふクッキング

## 生産者との交流でゆたかになる 私たちの食卓

理事 石川 佳名子

2月から3月にかけて、組員同士の交流を目的とした「組員交流会」が県内8地区で9回開催されました。あいコープの柱「人・食・環境」のテーマに基づき、各地区委員会などで工夫を凝らした「バラエティ豊かな企画が満載で、複数回参加して交流を楽しんだ方もいらつしやいました。太白地区では、3月12日に太白区中央市民センターで、あいコープの豆腐の製造元である菅野食品(株)の村尾販売部長をお迎えして「こんな食べ方あったんだ！マンネリ解消 お豆腐クッキング」を開催しました。25名の組員が参加し、あいコープのPBブランドのライベトブランドの豆腐について学びを深め、豆腐を使った多彩なメニューを楽しみました。

「お豆腐クッキング」では、地区委員が試作を重ねて考案したお豆腐メニューを4品紹介しました。普段とはひと味違った豆腐料理が並び、参加者からは「マンネリになりがちな豆腐料理のバリエーションが広がった」と言う喜びの声を頂きました。

また、普段は食育インストラクターとして料理を教える村尾さんにも調理に参加して頂き、「組員さんと一緒に調理をするのは新鮮で、調理中の何気ない会話から組員さんの声を聞くことができて学びが多かった」と感想を頂きました。

「イベントに参加してから生産者をより身近に感じるようになり、まんなま通信を見る時の気持ちが変わりました」とおっしゃった組員さんがいました。組員と生産者がこんなに近い距離で交流できるのも、あいコープの組員活動ならではです。『手間を惜しまずに商品を作り続ける生産者の想いを感じ、商品を購入して生産者を応援する』という良い循環が生まれていることを、とても嬉しく思います。今後より多くの方々に組員活動に参加して頂けるよう、楽しく学べるイベントを企画していきたいと思えます。

あいコープの豆腐は、県内産大豆と天然にがりだけというシンプルな材料で、消泡剤を使わず昔ながらの製法で作る豆腐。菅野食品では、早朝2時から作業を開始し、大変な手間をかけて私たち組員の元へ届きます。村尾さんの話から、豆腐作りへのこだわりとご苦労が参加者の皆さんへ伝わっていました。

### CONTENTS

- ▶組員からの義援金を能登にお届け ……2
- ▶組員交流会報告 ……4-5
- ▶鍋布団と布おむつ談議 ……7
- ▶GMO フリーゾーン運動全国交流会 ……3
- ▶石巻地区みそ交流会報告 ……6
- ▶生産者さんにあいにくい「無茶々園」 ……8

## 能登半島地震 支援カンパ金をお届け

昨年元日に発生した能登半島地震の際、あいコープ組合員から寄せられたカンパ金は457万円余り。うち115万円をすぐに支援に活かせる団体に託した後、残金は長期的な支援のために基金化し、組合員活動の中で継続してカンパを募りながら現地の生産者と使い道を協議してきました。同年9月には追い討ちのよくな豪雨災害に見舞われ、必要物資の変更を迫られながらもようやく使途が決定。3月13日、理事が石川県輪島市を訪れ、塩の生産者の「美味と健康」そして「輪島朝市を応援する会」に対して、支援金の目録を贈呈することができました。

あいコープで取り扱う「うれしいぬか床(ケイミールオフィス)」の原料である海塩は、輪島の海水をポンプのやわらかい熱と風で結晶化したもの。「輪島の塩造り文化」を守るためにもあいコープの支援はありがたいと、塩の製造元「美味と健康」代表の橋本三奈子さんはおっしゃいます。



(左から)吉武常務・中道さん親子・高橋理事長・橋本さん

塩工房を訪れると職人の中道肇さんが、生き物のように刻々と姿を変えていく水桶の中の海水を世話しており、つい最近、後継者になる決意を固めたという長女の真奈美さんを誇らしげに紹介してくれました。

今回の訪問は、友好生協である常総生協、自然派くらぶ生協、やまゆり生協と合同で行い、ケイミールオフィスの青木隆社長も同行しました。一行は、もともと美味と健康の店舗があつた輪島朝市(震災時の火災で一帯がすべて焼失)の跡地も訪れ、被害の大きさを確認。近隣にはまだ倒壊したままの家屋もあり、行政による復興スピードの遅さに苛立ちすら覚えました。そんな中、橋本さんらは輪島朝市を絶やさぬよう場所を変え出張朝市を続け「輪島朝市を応援する会」として積極的に活動しています。市場の焼失によって活力を失くしてしまったという地域の方は、お店を出せることで元氣を取り戻している様子でした。応援する会にはあいコープ共生会からの義援金もお届けし、翌日は橋本さんらへの今後の支援について、聞き取りと話し合いを行いました。

14年前の恩送り。私たちはあの頃支えてくれたたくさんの力と同じように、現地に行き笑顔を交わし、これからも繋がっていきます。

理事 鈴木 真奈美

### ■支援内容■

輪島支援基金(組合員カンパ) 3,444,136円  
あいコープ自然災害基金より 55,864円  
計 3,500,000円  
※以下の物資に活用していただくよう贈呈しました。(配分は生産者に一任しています)

製塩工場… 軽トラック・発電機・収納庫  
作業室壁等の改修・商品袋等  
計 4,828,600円

他、輪島朝市用冷蔵ショーケース・  
2トﾝ冷蔵車・事務局人件費等



「出張輪島朝市」の車両と訪問者一同



塩の様子を見る職人の中道さん親子

## 部門方針説明会で団結を

3月15日エルパーク仙台に於いて、理事 職員向けの部門方針説明会が開催され、あいコープみやぎの事業を担う各部門から来年度の方針が示されました。

営業課は新規加入7千名の目標を掲げ、新規組合員のフォローと利用定着にも注力。供給課からは配送人員体制の維持と推進活動への注力、クレームゼロを指して組合員とのコミュニケーションを積極的に図っていくことなど。今年度、基幹システムの入れ替えを成し遂げたシステム課からは、ECサイトリニューアルなどのチャレンジの話がありました。

商品部からは、24年度の一人あたり利用金額は伸びたものの、一人あたり利用点数は減少しており一番の課題だ、と率直な話も語られました。ここには書ききれませんが、どの部署のプレゼンからも、様々な課題を客観的に分析し次年度の計画に活かそうという熱量が溢れていました。

職員が産地を学ぶ「コアサイクル活動」の発表や、全職員参加の企画「コンペ」ゼロイチ企画」の表彰、また、昨年末にセットセンターで発生した急病人に対する人命救助に尽力した職員3名への表彰も行われました。

今回の説明会は、新年度を前に様々な世代の職員や理事が互いを知り、目標を共有するまたとない機会となりました。

理事 石井 朱里



全部門の職員と理事が一堂に

「食べ物のことを考える」 今、ここから、私たちから

# GMOフリーゾーン運動全国交流集会 in えひめ

3月1〜2日にかけて、愛媛県今治市でGMOフリーゾーン運動の全国集会が行われ、理事3名が参加しました。

集会の第一部は映画上映会でした。「WE ARE WHAT WE EAT」食べることは生きることは、アメリカで地域の農家と食べ手を直接つなぐ、ある女性料理店主が来日し日本の農業生産者と交流するドキュメンタリー映画。生産者を「ガーディアン(守護者)」と呼び、「あなたたちは地域の食と土地を守る尊い存在、心から尊敬します」と声をかけ、生産者が涙ぐむシーンには涙が止まりませんでした。地域の食材を使



←会場ロビーでは参加団体によるマルシェ開催



→一種の交換会で在来の種を分けてもらう高橋千佳理事長

第二部はパネルディスカッション。「食べ物のことを考える えひめサミット」と題し、パネリストがそれぞれの経験と意見を述べあいました。なんと愛媛で柑橘のゲノム編集研究が始まっていることも伝えられ、強い危機感を感じるパネルディスカッションでした。  
無茶々園の天津事務理事は、氣候問題や高齢化など農業生産現場の実情、高くなる一方の柑橘を



あいコープからもGMナタネの調査報告を行った(辻朗子理事)

つた学校給食を子供達とともに味わい、感動し「皆さんの仕事は美しい」と素直に称賛し励ます姿にも感動しました。作品中の「70年前までは世界中の全ての食材は地域の旬であり、オーガニックだった」ハッとさせられました。数十年前のあたりまえがなぜ今はこんなに難しいのか…この映画のように少しずつでも何かを変えていく「おいしい革命」に心が揺さぶられます。

買い支えてもらえるかという不安や、スマホ代は払えても食べ物には「高い」となりがちな社会の現状を訴え、「暮らし方と食べ方を考え、どう自分なりの暮らし方にもっていくか、考えていく」と話されました。

『遺伝子組み換え食品いらない! キャンペーン』の天笠代表は、ゲノム編集食品に対する国内での反応の少なさは表示の問題に由来すると思われること、消費者に知らせて買われなくなること、現在の仕組みを批判。「命の源は太陽なんです。人工的な環境ではなく自然と共にあるべきだが企業は逆行している。これからも私たちの生き方、考え方を企業にぶつけていく」と締めくくりました。



来年の開催地「東京」へバトンが渡された

理事 辻朗子

食品表示問題ネットワーク主催  
原料原産地表示改善と  
ゲノム編集表示を求める市民集会

3月5日、食品表示問題ネットワーク主催の市民集会が衆議院会館で開催されました。パンや麺類などの原料小麦は原料原産地表示に「小麦粉(国内製造)」と表示されており、国産と誤解する消費者も少なくありません。ゲノム編集食品に関しては表示義務すらありません。「(国内製造)」表示の法的問題は、消費者の権利と食料への権利からすれば、原料原産地表示をするのが原則であり私たちの当然の権利と言えます。意見交換会では、消費者庁側の企業に対する「実行可能性」を優先させる回答に対して、消費者の目線で改善して欲しいと多くの意見が飛び交う中、対話を続ける必要性を訴えました。

理事長 高橋千佳



集会で意見を述べる高橋理事長

おいしい!

楽しい!

各地区委員会で

# 組合員交流会が開催されました

仲良くなれる♪

春の組合員交流会が各地区で開催され、延べ 183 名の組合員が集いました。生産者から商品や食べ物についてのお話を伺ったり、目からウロコの活用術を学んだり... 地区委員さん達が工夫を凝らしたイベントで交流の輪が広がり、新たな委員さんも続々誕生！一部をご紹介します。(※P1,P6 に関連記事)



## 2/20(木)しおさい地区 「脱プラへの一歩☆みつろうエコラップ作り」

しおさい地区・利府町に伝わる刈安染めの布を使い、みつろうエコラップを作りました。講師が独自にブレンドしたオイルの原料はオーストラリア産の安全安心なみつろうとのこと。甘い香りの中、ゆったりと穏やかな時間を過ごしました。また、このエコラップは繰り返し使えるのでゴミ削減や脱プラスチックに繋がることを学びました。企画に初参加の方も多く、地区委員会や組合員活動にも興味をもっていただけたようです。(担当理事)



みつろうをアイロンの熱で溶かし、刈安染めの布にゆっくり浸みこませます。



1枚1枚表情の違うマイエコラップが完成！生活の中でできる脱プラを進めましょう♪



## 2/26(水)青葉 AB 地区 「キムチ鍋で元気に！あったまろう！」

組合員同士ゆっくりお話したい！小さいお子さんがいると作らないキムチ鍋を本来の味で食べてもらいたい！という気持ちから今回の交流会を企画、20名を超えるたくさんの参加者でにぎわいました。

「趙さんの味」へのリスペクトを忘れずに試作を重ね、材料を忠実に使いつつも青葉 AB 地区委員みんなが美味しいと思えるおすすめの作り方を組合員さんへお伝えしました。皆さんからは「おいしい！！」と大好評！各テーブルに地区委員が入り作り方をレクチャーし、人と人が会って、おしゃべりする。心もあったまる交流会になりました。(担当理事)



キムチの力で山盛りの野菜がスルスルお腹に収まりました♪

## 2/22(土)宮城野若林地区 「出張！珈楽多夢さんのコーヒー教室とお楽しみランチ」

珈楽多夢の伊藤華奈子さんを講師にお迎えして、美味しいコーヒーを淹れるコツを教えてくださいました。基本の淹れ方を教わった後に、いつも使っている自分の器具でコーヒーを淹れてみました。「色々なやり方がいい。適当でも大丈夫です。とにかくコーヒーを楽しむように」との言葉に参加者さんの肩の力も抜けました。参加者からは「道具などに特にこだわらなくても良いという事が聞けて良かった」との声。食育コンダクター小澤陽子さんのランチも好評で「あいコープの食材を使った体に優しい食事がとても美味しかった」との感想もいただきました。キッチンスタジオは、まるでカフェの様な良い香りに包まれ、美味しいコーヒーとランチで幸せな時間を過ごすことができました。(担当理事)



素敵なワンプレートランチでほっこり



土曜日の企画で「平日は仕事が...」という方も無理なく参加

## 2/26(水)泉 B 地区(2 回目) 「原木しいたけ試食会 with 芳賀裕さん」

PB「原木乾しいたけ」の学習報告を兼ねて開催しました。9月に東和町の芳賀さんの圃場に見学に行きましたが、今度は芳賀さんの方から根白石までお越しいただきました。原発事故から現在までの経過や、原木と菌床栽培の違い、椎茸の栄養価や価格の比較、干し椎茸にするまでの工程など、地区委員の報告と芳賀さんの補足説明で「学べる交流会」、有意義なひと時です。報告の後は中国産原木椎茸、国産菌床椎茸、そして芳賀さんの原木椎茸、それぞれの「干し椎茸」の食べ比べを行い、その味わいの違いに参加者からは驚きの声。試食タイムは、そんな干し椎茸を使ったピラフやポターージュ、デザートのココアケーキにまで干し椎茸が入るフルコース！参加者にも芳賀さんにも大好評でした。(担当理事)



栄養満点・ヘルシーな「干し椎茸フルコース」!

## 3/14(金)仙南地区 「お祝いメニューを楽しもう『スモークサーモンでキッシュ作り♪』」

仙南地区の交流会は3月14日のホワイトデー。ちょうど卒園・卒業の時期ということで、「タンポポ村さんのスモークサーモンを使ったパーティーメニューを作ろう！」という企画になりました。

タンポポ村の牛渡社長をお招きし、スモークサーモンの原料である「紅鮭」から、写真付きで製造工程を学習した後に、豆乳のキッシュ、クリームチーズのカナッパ、ミモザサラダの調理スタート！キッシュに使うのはパイ生地ではなく「みんなの i 食パン・8枚切り」を使用しました。混ぜて冷やすだけで、華やかなパーティーにピッタリなカナッパも完成！各テーブルに春がやってきました。参加者からは「スモーク具合がちょうどいい」「パーティーメニューにぴったり」「それぞれの調理法が知れてとてもよかった」など喜びの声がありました。(委員長)



スモークサーモンの説明をするタンポポ村・牛渡社長



みんなで作れば華やかなパーティーメニューもあつという間!



## 2/21 第36回あいコープ共生会総会

2月21日、仙台国際センターを会場に、第36回あいコープ共生会総会が開催されました。あいコープ共生会とは、あいコープみやぎ・ふくしまと取り引きのある生産者による団体であり、あいコープと共により良い社会の実現を目指す大切なパートナーです。あいコープから理事や職員が参加し、活動と事業の報告をさせていただきました。共生会幹事会からは今年1年間の活動報告と、来年度の方針が示されました。議案書はとてもボリュームのある量、中身で、共生会の意気込みがひしひしと伝わって来ました。来年度も手を取り合って進んでいきたいと思いを新たにしました。

理事 櫻井 洋子



あいコープ共生会・幹事会メンバー

## 2/22 社会福祉法人みんなの輪・ありがとうコンサート

社会福祉法人みんなの輪の後援会によって毎年行われる「ありがとうコンサート」。エルパーク仙台に約250名が集いました。336名もの応募があり残念ながら落選となった方も多く、みんなの輪に対する組合員の関心を感じました。今年はモンゴルの伝統楽器「馬頭琴」の演奏で、参加者は異国ムードたっぷりの演奏に酔いしれ、聴きなれた日本の歌の演奏では参加者が声を合わせ歌うシーンもあり、会場は温かな一体感で包まれました。

みんなの輪理事長の仲野谷氏から、14名にも上るみんなの輪の新人職員の紹介もあり、社会福祉に携わる若い力を感じることもできたコンサートでした。理事 鈴木 真奈美



馬頭琴奏者のバラヤトさん妻のモンゴル伝統舞踏も鮮やか

わだいのたねまき



2月28日石巻地区フォーラム



天保の大飢饉（一833〜39年頃）は冷害により米や作物だけではなく春や秋の山里の恵みさえもこと欠いたという。生活は破綻し、人々は木の根をかじり多数が餓死するほどであった。時の幕府や諸藩の無策ぶりに領民の憤りは爆発し、救民や世直しを旗印に各地で乱や百姓一揆や打ちこわしが起こった、と歴史のページに記されている。

鎌田醤油はそうした歴史的背景の中、天保年間一835年に味噌醤油の醸造を始めた。稲作農家、酒造からの切り



(有) 鎌田醤油の 鎌田雅敬専務

左上：好きな具材を選んで味噌汁バイキング  
左下：脱原発エネシフ委員会から、鍋布団を使った炊飯の実演も



替えだという。工場の中に住み続けている菌とともに伝統を守りながら近代的なコンピューター管理も取り入れ、時代に抗い、時代に添い味噌醤油造りを続けている。あいこープを通じてその歴史を引き継ぐ傍らに消費者としていられることをとても誇りに思う。多くの組合員さんと共に一袋の味噌（言うまでもなくもちろんそれだけではありません）を次世代に伝えていきたい。

今回の味噌フォーラムは日本の大切な食文化を支えてきた先人に思いを馳せる機会となった。

石巻地区委員 長沼利枝



生産者を招き、食材の歴史までを考えるひと時になりました



月刊 P B  
ライベイトブランド  
4月号

「ミートセンターで作る生ソーセージ」開発プロジェクトの進捗をお伝えします。まず一つ目。これまでの試作品で課題だった「噛んだ時にボンボン・パサパサする感じ」を改善するため、材料は変えずに肉の練り方の工程を変えた試作品「第2号」を製造し、メンバーで試食を行いました。結果は歴然！ボイルした時のドリッぽも少なくジューシーな仕上がりに。工程でここまで違いが出ることに驚きました。二つ目は、「スパイスが入らなければソーセージとはいえない」という常識を疑ってみよう！というメンバーの発案で、ひき肉と塩だけのソーセージを手作りしてみました。ボウルでタネを練り、ラップに包んで細長く成形し、鍋でボイルしてから焼き色を付け：「うん、これはひき肉だね！（笑）」。結果、ソーセージとは別のものができ上がったのですが、図らずもお肉のおいしさを再確認したメンバーでした。今回はより保水性をアップする「貝カルシウム」を添加した試作品「第3号」を製造し、2号と比較します。

理事 石井朱里



1号(左)はおいしい肉汁が逃げてしまっています



和気あいあいと手作り

理事会議事録抄

2025年3月4日（火）

▼ハラスメント対応についての外部相談窓口契約を承認した▼新CM制作委託先を決定した▼2025年度総代会に至る日程及びタイムスケジュールを承認した▼2024年度活動報告及び2025年度活動方針と事業計画を承認した▼2025年度委員オリエンテーション企画案を承認した▼原木椎茸見学会企画案を承認した▼「荒野に希望の灯をともし」上映会企画案を承認した▼2025年度理事会及び理事協議会開催スケジュールを確認した。

組織概要

(2025年2月分)

【組合員数】	17,595名
【供給高】	269,303千円
【一人実利用高】	6,247/週
【出資金】	1,364,389千円



●改めて自分の食生活の振り返りができた。ゆっくり時間をかけて食べたり飲んだり美味しい物を食べる（飲む）には手間をかけることも大事ですね。（宮城野若林地区 組合員交流会参加者感想より）

# 始めよう！緩めよう！ 石けん生活

3月5日 石けん環境委員会  
「鍋布団と布おむつ談議」

## 布おむつ育児を知りたいママが集合！

紙おむつは、パルプやプラスチックを主な材料としています。石けん環境委員会では、使い捨てるゴミを減らし環境にも身体にも優しい布おむつの利用をおすすめしています。今回は脱原発エネルギー「鍋布団」と布おむつ談議を開催し、湿った雪と雨の降る中でしたが7名が集まってくれました。

最初は鍋布団調理。プリンと「さつまいもとりんご煮」を鍋布団で包み、火が通るのを待ちながら布おむつ談議を行いました。

布おむつをまだ使ったことのない方や今使っている方に聞きたいことをそれぞれ挙げてもらいました。どうやってあてる？ど



小さな赤ちゃんに優しいものを求めて…

うやうやしく洗う？おむつカバーはどんな種類がいい？漏れてくるけど、解決法はあるかな？布おむつのシミはどうやってとる？などで「うやうやしく」といよいよ、こんなものもあるよと教え合い、実際に布おむつカバーも見せていただきながら参加者さん同士でも話し合い、布おむつ生活のヒントになりました。

話をしている間に鍋布団に包んでいたおやつが完成。鍋布団を開けてみると30分以上たつてもまだまだ熱い鍋に皆さん感激していました。保温調理は光熱費の削減にもなつて、その間に子どもと触れ合える時間が増えるね、と鍋布団の良さも伝わったと思います。

布おむつ、自分でできるかな、面倒じゃないかな、大変そう…など心配な方もいらつしやるかと思えます。「おうちにいる時だけ」「今日はお天気がいいから」など、無理のない範囲で始めてみませんか。紙おむつの中に入れて使ったり、お子さんが大きくなつたらパンツの中に一枚布おむつを入れてトイレトレーニングしたりと、色々な使い方ができます。

理事 佐藤あきな



## 私のオススメ商品



私の紹介する商品は、「バランゴンバナナ」です。食べた瞬間に口いっぱい広がる甘さが魅力です。さらに、果肉は

とても柔らかく、食べやすいので、スムージーやデザートにもぴったり。健康にも良い栄養素が豊富で、日々の食事に取り入れるのにも最適です。おやつや朝食として、ぜひ一度お試しください。

事業部 供給課 鳥畑 聖矢

※2月号で紹介したランカスターの「アールグレイティーバッグ」は、商品に農薬の残留は認められていませんが、茶葉の栽培は無農薬ではありません。お詫びして訂正いたします。

## 編集後記

取材を兼ね、震災から1年3カ月が経った能登・輪島を訪ねました。未だ傾いたままの電柱や標識に14年前の宮城を重ね、地元の頑張る人々の笑顔に人の強さを感じました。地震と水害で、人々に「神も仏もない」と言わしめた苦難の中にあって、幸いなのは放射能汚染がなかったこと。珠洲原発建設を阻止した先人に感謝しながら、人と生業が戻れば地域が復活すると確信し、精いっぱい支援しようという気持ちで本紙を編集しています。

理事 鈴木 真奈美



## 委員さん募集中！

あいコープの仲間と  
食のこと  
環境のこと  
一緒に話しませんか？

お問い合わせ先  
☎ 0120-255-044  
Fax 0120-849-324  
Email [i-kumikatsu@mamma.coop](mailto:i-kumikatsu@mamma.coop)  
(担当：組合員事務局 鈴木・木田代)

## 組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは  
ジョイケア事務局へ



0120-50-7277 平日 9:00~17:00

年金相談・5/13(火) 社会保険労務士 清野道子氏  
13:30~15:30

法律相談・5/13(火)、5/21(水) 弁護士 倉林千枝子氏  
13:30~15:30

子ども相談・5/22(木) 宮城教育大学准教授 特別支援教育専攻 三科聡子氏  
10:00~12:00

\*介護相談は相談日のご希望を伺います。  
介護相談 (ケアプランセンター木れび 山崎彰子氏)

▼随時受付可能です。各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。▼金曜日が祝日の場合は直前の平日の受付時間まで受付します。▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。

## ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

### ジョイケア利用状況 (2025年2月分)

ささえあい(保障)	2件	(動物被害による商品への補償)
たすけあい(ケア)	4件	(ケア時間 合計5時間)
集団託児	6件	(利用延べ人数 15名)
慶弔	12件	(出産祝い6件 お悔やみ6件)
電話相談	11件	(キャンセル除く相談実施件数)
計	35件	



●子どもが小さい時にタイミングよく参加できてよかったです。布おむつについてネットでは探せば情報はありますが、なかなか実際やっている人と話す機会が少ないので、また参加したいです。(布おむつ談議参加者感想)

「無茶なことでも無茶苦茶に頑張ってみよう」

山と海と 地域の人々と共に 大地と心を耕す



愛媛の豊かな自然の中での「無茶」な無農薬柑橘栽培。無茶苦茶に頑張ろう！と15アールの実験圃場から始まった取り組みが、社会福祉活動にまで繋がる物語をお聞きました。



株式会社地域法人無茶々園  
代表取締役 大津 清次さん

おかげさまで、無茶々園は50年目の春を迎えることができました。これも皆様方のおかげです。

2024年産柑橘は大不作(温州みかんは前年比約50%)で食味も今一つ(糖度1℃以上低い)でした。愛媛県みかん研究所の話でも30年間で最も悪いのではないかとされています。原因としては、1昨年の大干ばつの影響で隔年結果したこと、5月の開花後のカメムシの大発生で落果したこと、秋の高温・雨で食味が上がらなかったこと、そして最後にイノシシの大襲来です。「過去にはなかったことばかり」が起こった始末です。本当に農業生産は計画どおり行かないものだと思います。今年は大豊作、最高のみかんをお届けできることを念じています。無茶々園の活動は海の活動、福祉、6次産業化と多岐にわたっています。



無茶々園の  
ホームページは  
こちらです→



海を望む斜面の  
歴史ある石垣で柑橘栽培

愛媛県にある「無茶々園」。まんま通信の商品には、みかんや甘夏もあればちりめんなどの海産物もあり、不思議に思ったことはありませんか？産地に行って納得！そこは海と山を一度に感じられる恵みの里でした。豊かな山があってこそ豊かな海がある。無茶々園は自然の循環を守り、その恩恵を私たちに届けてくれる生産者団体なのです。

柑橘類を生産する農家と、ちりめん漁をする漁師、真珠の養殖をしている方も無茶々園の一員です。更に2013年には福祉事業を展開する会社を設立し、事務所の入る旧小学校の一室で、高齢者向けのお弁当事業を行うなど、食と農で地域を結び、地域の人に対し雇用ややりがいも生み出しています。



事務所が入る旧・狩江小学校校舎  
みかん畑を背負って建つ

異常が日常化する気候の中で、みかんだけでなく海の資源も打撃を受ける中、真珠の生産者が一念発起して「スジアオノリ」の養殖を成功させるなど、新しい取り組みにも積極的。四国の青い海を吹く風に、試食させてもらった乾燥青のりの良い香りが漂いました。無茶々園の今後に期待が膨らみます。HPもどうぞご覧ください！→→→



海水と日光の力で育てる  
スジアオノリの養殖を見学

今後の予定

4/16(水) 4/24(木)

理事会主催

GM(遺伝子組み換え) ナタネ調査隊出動!

場所/仙台港(4/16) 石巻港(4/24)  
時間/10:00~11:00 10:00~11:30  
参加費/無料 〆切/4月4日(金)



イベントへの  
申し込みは  
HPから♪

4/18(金)

石巻地区委員会主催

鍋布団で★Let's cooking!

場所/石巻市蛇田公民館 2F調理室  
時間/10:00~12:30 参加費/500円  
※託児あり 〆切/4月4日(金)

5/16(金)

2025年度 委員オリエンテーション

場所/宮城野中央市民センター  
時間/10:00~12:00 参加費/無料  
定員/70名(託児定員6名) 〆切/5月2日(金)

あいコープみやぎは女川原発の稼働停止と核燃料の乾式貯蔵施設建設中止を求めます

女川原発の再・再稼働から

2024年10月29日再稼働し  
不具合による停止を経て11月  
13日に再稼働しています

138日目

早く  
停止を

2025年4月1日現在